姉さん、事件です！

社会マネジメント学科　井　坂　　聡

このタイトルをご覧になってピンと来た方は、中々の「通」かもしれません。1990年代に人気を博したテレビドラマ『ホテル』シリーズで、高嶋政伸さん演じる主人公・赤川一平のモノローグに毎回必ず入っていたフレーズです。私はオールハワイロケで行われたシーズンⅤで２本、監督を務めました。ダイヤモンドヘッドを挟んでワイキキビーチとは反対側に位置する超がつく高級ホテル、カハラ・マンダリン・オリエンタル（現：ザ・カハラ・ホテル＆リゾート）がドラマの舞台で、私も約３週間、自腹ではとても泊まれない、イルカが泳ぐラグーンに面した天蓋付ベッドのある部屋で贅沢をさせていただきました。昨今はドラマの予算も厳しくなり、海外はおろか国内の地方ロケも減り、寂しい次第です。

さて前置きが長くなりましたが、昨年（2021年）の夏、あるプロダクションの依頼を受けて、短編映画を２本監督しました。演技ワークショップの参加者30数名を２つのグループに分けて制作したのですが、いわばクライアントがその参加者たちということで、通常とは少し違う作り方になりました。映画の長さは出演者の人数×１分以上（20人ならば20分）、それぞれの出演者に最低でも２～３のセリフを与え、６秒以上あるアップ（顔が分かるサイズ）のカットを撮るという条件付きです。

大人数にセリフを割り振ってアップを撮るとなると「会議」の設定にするのが一番楽なので、マーガレットホールでの撮影を考えましたが、新型コロナウイルス感染対策で、学外者を入れてのロケは駄目だと言われてしまいました。予算もあまりないので困ったなと思っていた時に、ふと頭に浮かんだのが、ユニコムプラザさがみはらでした。ここは誰でも使用できて格安の料金、色々なタイプの部屋があり使い勝手がいいので、早速空き状況を調べてみました。しかし、ここでも問題が。撮影予定の８月

４日～７日はまん延防止等重点措置の発出中で、各部屋の定員が通常の半分までとなっていたのです。スタッフもいれるとそれぞれ20名くらいになりますので、40名以上の定員の部屋しか使えません。条件にあうのが大会議室と調理実習室のみでした。そこで一つの作品は構想どおり会議の話、もう一つは料理教室の設定のシナリオを書きました。ちなみに撮影は数日に渡りますので、食材を買ってしまうと管理が大変でお金もかかります。ここは知恵を絞り、料理教室に食材が届かなくてトラブルになるというストーリーにしました。

準備も順調に進み、後は撮影日を迎えるのみとなっていたのですが、その直前８月２日から神奈川県にも緊急事態宣言が発出されることになりました。そしてユニコムプラザから電話が…。緊急事態宣言発出に伴い、８月６日から施設の貸し出しを休止することになったというのです。まさに「姉さん、事件です！」。

今から他を当たるといっても公的施設は同じ状況でしょうし、スケジュールを延期することも出来ないしと、茫然自失で頭を抱えました。しかし、そこにまた電話が掛かってきました。日頃からお世話になっているユニコムプラザの所長さんからでした。「既にスタッフや機材を押さえるなど、予約のキャンセルによって損害が発生する状況であれば、特例で使用許可を出します」とおっしゃってくださり、まさに地獄に仏、何とか予定通りに撮影を実施することが出来ました。

さて、後日談。出来上がった作品を見た出演者の一人が「あ！　私、マスクしたままです！」と声を上げました。確かに画面の中の彼女はマスクをしていました。撮影中、本番の時以外は常時マスク着用でしたので、時々外すのを忘れてカメラの前に立つ方がいて、注意はしていたのですが、マスク姿に違和感がなくなってくると、こんなうっかりミスも起こってしまいます。この時は、大人数が写っている後ろの方で目立たなかったので、撮り直しなどの「事件」にならなくて良かったです。